

第 3

学ぶ喜びがあふれる文化の薫るまち

1 次世代を担う人材育成と高等教育の充実

基本施策19 義務教育の充実 …………… 102

基本施策20 高校・大学・各種教育機関の充実 …… 104

2 人が輝き文化の薫るまちづくりの推進

基本施策21 生涯学習の推進 …………… 106

基本施策22 市民スポーツの推進 …………… 108

基本施策23 文化芸術の振興 …………… 110

基本施策24 国際・国内交流の推進 …………… 112

基本施策 19 義務教育の充実

現況と課題

急激に変化する時代の中で、「未来の社会をつくる」ため、持っている知識・技能・情報を生かすはたらかせ、グローバルな視野で多様な価値観を持つ人々とコミュニケーションを図りながら、地域社会の創造、発展に貢献していくことが必要とされています。

義務教育段階においては、知・徳・体の社会で生きる力を身に付ける学びを推進するとともに、学校・家庭・地域のそれぞれの思いをつむぐ連携・協働体制を確立することで、その教育力を最大化させることが必要です。

基本目標

高度な情報技術を活用し、グローバルな視野で活躍することが求められる未来を担う子どもたちが、個性や能力を生かし、実社会で「生きる力」を育み、社会を支える「自立」した人間になるために学びの環境の充実を図ります。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市学校教育推進計画
- ・ 苫小牧市小・中学校施設整備計画

主な取組

1 社会で生きる学びの推進 【教育委員会】

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善、学力向上に向けた検証改善サイクルの確立等、義務教育における確かな学力を育成します。
- (2) 個別最適で協働的な学びの実現(ICT*の活用促進)や、外国語教育の充実と国際理解教育の推進等、これからの時代に求められる資質・能力を育成します。

2 学校・家庭・地域の思いをつむぐ体制の確立 【教育委員会】

- (1) スクールカウンセラー*の派遣など教育相談体制を充実させ、適応指導教室・SSW*などと連携・協働した取組を推進し、いじめの防止や不登校児童生徒への支援の取組を充実させます。
- (2) 家庭・地域と一体となった学校づくりの推進(CS*等)、社会との連携・協働による教育課程の実現(SDGs、環境教育等)等、学校と地域の連携・協働した取組を推進します。
- (3) 学校規模や地域の実情に合わせた望ましい教育環境の整備や環境・健康・福祉に配慮した施設の整備など、小・中学校の教育環境・施設・設備の充実を図ります。



主な事業

【教育委員会】

- ・学力向上推進事業
- ・学習用ICT環境整備事業
- ・外国語教育推進事業
- ・いじめ問題対策事業
- ・不登校対策事業
- ・スクールソーシャルワーカー活用事業
- ・コミュニティスクール事業
- ・小・中学校施設整備事業

評価指標

目標指標（項目）	基準年度	R9年度目標
「小学校・中学校において充実した教育が受けられること」への市民満足度*（％）	66.5	70.0

苫小牧型小中連携教育の概念

学校がつながり、人と人がつながり、相互に認め合い、全てに高まり続ける地域・学校を目指す教育が、苫小牧型連携教育です。

つながる

学びがつながる
人と人がつながる
支援がつながる

- ・学校教育推進計画
- ・SDGs、ESD
- ・学びの連続性
- ・中・小1ギャップの解消
- ・小1/3/5/7/9への対応
- ・福祉との連携



Tomakemai All-9

※：中・小1/3/5/7/9の確かな成長を目指して、一貫した学びの連続性を推進します。

Tomakemai ALL・9

小中学校9年間の確かな成長を目指して～生きてはたらく力を身に付けた15歳の苫小牧っ子～

みとめる

豊かな心を育む
多様性を尊重する
世代間が交流する

- ・学校教育推進計画施策
- ・いじめ撲滅
- ・男女平等参画部市宣言
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・ダイバーシティ
- ・まちづくりの視点

たかめる

研鑽し学び続ける
国際的素養を高める
健康に生きる

- ・学校教育推進計画
- ・研鑽の充実
- ・国際理解教育の充実
- ・防災教育の推進
- ・特色ある教育の推進



基本施策 20 高校・大学・各種教育機関の充実

現況と課題

現在、北海道教育委員会においては、国の高校改革を踏まえ、社会情勢や高校を取り巻く教育環境の変化に対応し、未来を担う人材を育む教育機能の維持向上を図りつつ、地域とともに考える活力と魅力のある高校づくりの検討が進められています。本市においても少子化の進行や、生徒のニーズの多様化などに対応する将来的な高校の配置や学科の在り方は重要な課題となります。

高等教育機関について、本市には北洋大学と苫小牧工業高等専門学校があり、より高度な専門知識と技術を享受し、地域社会の発展や地域で活躍する人材の育成に貢献しています。また、産学官によりC-baseを運営し、企業の技術相談を行うなど、随所で連携しています。

人口減少社会において若者の地元定着が課題となっており、このためにも、市内の高等教育機関の充実を図り、関係機関との連携をより一層強化する必要があります。

基本目標

高校の教育水準の維持向上を図り、活力と魅力のある高校づくりに向けた協議を行うとともに、経済的な理由から就学が困難な方にも教育が受けられるよう支援します。また、高等教育機関との連携を一層強化することにより、地域の活性化と魅力向上を図ります。

主な取組

1 高等学校の充実 【教育委員会】

- (1) 高校配置計画検討協議会等において、胆振東学区の高校配置や新しい学科等の設置など地域の考え方を示し、北海道教育委員会と協議を進めます。
- (2) 私立高等学校及び定時制・通信制高等学校における生徒活動の充実などのために必要な支援を行います。
- (3) 市内小中学校において、高校生のインターンシップの積極的な受入れを行います。

2 高等教育機関との連携 【総合政策部、産業経済部】

- (1) 各種高等教育機関と様々な分野で相互連携を促進します。
- (2) 学生の地元定着のため、関係機関と連携し、地元企業へのインターンシップの支援に努めます。

3 育英制度などの充実 【教育委員会】

- (1) 就学における機会均等の確保と優れた人材を育成するため、育英制度などの充実にも努めます。

主な事業

【総合政策部】

- ・市内大学インターンシップ支援事業

【教育委員会】

- ・私立高等学校等生徒活動費補助金
- ・苫小牧市育英会
- ・苫小牧市交通遺児育英会事務
- ・苫小牧市高等学校定通教育振興会補助金

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
「高校・大学・専門学校など、高度な教育が受けられること」への市民満足度* (%)	55.4	60.0

苫小牧市育英会・交通遺児育英会 奨学生募集!

苫小牧市育英会 就学能力を有するにもかかわらず、経済的な理由で就学が困難な方に、奨学金を無利子で貸与・給付します!

奨学・給付額	入学一時給付	奨学金	奨学給付金
大 学 生	5万円 ※市内大学生は7万円	月額 1万5千円 または 3万円	月額 8千円
高 校 生	3万円	月額 1万円	月額 5千円

苫小牧市交通遺児育英会 就学能力を有するにもかかわらず、経済的な理由で就学が困難な交通遺児の方に、奨学金を給付します!

奨学額	奨学金	奨学給付金
大 学 生	4万円	—
高 校 生	3万円	月額 1万円
小・中・高 生	2万円	—

～ 奨 学 方 法 ～
保護者が苫小牧市長の方
(交通遺児育英会は交通遺児である方)
就学能力と意欲があつて、学費に乏しい方

～ 選 考 方 法 ～
「就学収入」「学歴成績」「人物評価」
などをもとに選考します

詳細・お問い合わせ先
苫小牧市教育委員会総務企画課(市役所第2庁舎1階)
☎ 0144-32-6153

制度を活用して大学へ行こう! **無料**

教育資金セミナー

大学進学の問題...

- 大学進学の問題...
- 市の教育資金返済助成制度?
- 教育ローン? 奨学ローン?
- 市民向けの奨学金制度?
- どこで調べたら良いのかわかる?
- 市役所が金融機関に聞いてみるの?



基本施策 **21** 生涯学習の推進**現況と課題**

少子高齢化が進み、人生100年時代が到来、また、人工知能(AI)などの先端技術が高度化し、社会の在り方そのものが劇的に変わる状況が生じつつあります。

このように急激に変化する時代の中で、地域社会の課題も多岐にわたり複雑化、高度化しているため、市民の学びのニーズに応じていくことが求められています。

市民が生涯にわたり、あらゆる機会、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に発揮できる生涯学習社会の実現には、ライフステージに相応しい学習機会の充実が不可欠です。

社会構造の変化の中で先を見通すことがなほ一層難しい時代には、様々な課題を解決するための取組を進めていくことが必要です。

また、学習機会を保障するための環境整備が重要となっており、特に老朽化が進む科学センターについては、改築に向けた検討が必要となっています。

基本目標

高度化・多様化する学習ニーズに対応するため、市民一人ひとりが生涯を通じて、あらゆる機会・場所において学ぶことができ、その成果を適切に生かすことのできる機会の充実と、学びをいかした「人・つながり・環境」づくりに努めます。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市生涯学習推進基本計画
- ・ 苫小牧市図書館運営方針
- ・ 苫小牧市図書館蔵書整備計画
- ・ 苫小牧市子どもの読書活動推進計画

主な取組**1 主体的に生涯学習を続け、郷土の発展を支える人づくり 【教育委員会】**

- (1) セカンドブック^{*}や長生大学、障がい者学習支援など、市民一人ひとりのライフステージに相応しい学習機会の充実を図ります。

2 いつでも、誰とでも学べる環境づくり 【教育委員会】

- (1) 学んだ経験や成果を生かす、学びが循環する体制の拡充を支援します。
- (2) 学習グループや企業等との連携を強化し、協働に努めます。
- (3) 学ぶ意欲に即応できる情報提供体制の充実により、市民の学習活動の支援に努めます。
- (4) 生涯学習関連施設との連携強化に努めます。
- (5) 多様な市民ニーズに応える図書資料や郷土資料の収集保存と、滞在型の魅力的な図書館機

能の整備拡充に努めます。

- (6) 青少年の科学に対する興味・関心を高めるため、宇宙ステーション「ミール」の展示事業を始め、各種科学体験事業などの充実に努めます。
- (7) 児童が苫小牧の歴史や文化芸術、自然に触れる郷土学習等の充実に努めます。
- (8) 科学センターの移転改築に向けた検討を進め、老朽化した施設の対策を図ります。

主な事業

【教育委員会】

- ・生涯学習推進計画事業
- ・障がい者学習支援事業
- ・セカンドブック事業
- ・科学展示事業
- ・天文普及事業
- ・アウトリーチ推進事業
- ・科学体験事業
- ・美術博物館大学講座事業
- ・美術博物館教育普及事業

評価指標

目標指標（項目）	基準年度	R9年度目標
「生涯を通じて、様々な学習をする機会があること」への市民満足度*（％）	63.8	65.0
各施設の生涯学習関連講座受講者数（人）	5,400	10,000
出前講座実施回数（回）	180	280
図書館貸出資料数（千冊）	690	930
科学センター利用者数（人）	105,000 (H28～H30平均)	110,000





基本施策 22 市民スポーツの推進

現況と課題

全国で初めて「スポーツ都市宣言」を行った本市は、苫小牧市スポーツ推進計画の基本理念である「活みなぎるスポーツ都市とまこまい～スポーツを愛し、市民が活気あふれるまちへ～」の実現に向けて、様々な事業展開を図り、生涯スポーツの振興に努めています。

また、市民の誰もがそれぞれの体力や年齢、興味に応じて、いつでも・どこでも・誰とでもスポーツに親しめるよう、老朽化が進むスポーツ施設について優先順位を見極めて、安全・安心な施設運営に向けた整備・充実を図っていく必要があります。

今後は、「市民皆スポーツ」を目指して生涯スポーツの更なる普及に努めるとともに、人口減少に伴う競技人口の減少対策や、苫小牧市スポーツ施設整備計画に基づいた施設整備を進めることが重要となります。

基本目標

市民の誰もがスポーツに親しむことができる生涯スポーツの振興を図るとともに、スポーツ施設を計画的に整備し、安全・安心なスポーツ環境の提供に努めます。

また、気候や交通利便性といった本市の強みをいかして、全国・全道大会の開催や合宿を誘致し、スポーツによる地域の活性化を図ります。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市スポーツ推進計画
- ・ 苫小牧市スポーツ施設整備計画

主な取組

1 生涯スポーツの充実 【総合政策部】

- (1) 「市民皆スポーツ」を推進するため、市民がスポーツに親しむ機会の拡大を図る事業を実施し、多くの市民が健康で活力ある生活を実現することを目指します。
- (2) 世代を問わずスポーツができるイベントなどを開催し、スポーツを「する人」、「観る人」、「支える人」を支援することで、「活みなぎるスポーツ都市とまこまい」を目指します。

2 競技スポーツの充実 【総合政策部】

- (1) 競技スポーツの振興を図るため、指導者を養成し、各年齢層などに応じた適切な指導体制を整備します。
また、地域における競技力を向上し、国内外で活躍する人材を輩出することで、多くの市民に夢や感動と勇気を与えます。

3 スポーツ施設の整備と活用 【総合政策部】

- (1) 市民皆スポーツの推進と競技スポーツの振興を図るため、苫小牧市スポーツ施設整備計画に基づき、スポーツ活動の環境を整えます。
- (2) 総合体育館の移転について、市民の意見を踏まえて整備計画を策定し、建替えに向けて取り組みます。

4 国際・国内のスポーツ交流 【総合政策部】

- (1) スポーツを通じた交流により、国内外の舞台で活躍する人材を育成するとともに、全国や国際規模の大会を積極的に誘致・開催し、地域活性化を実現します。

5 各種スポーツ大会や合宿の誘致 【総合政策部】

- (1) 全国・全道大会や合宿の誘致活動を支援し、地域における競技力の向上のほか、スポーツによる関係人口*の創出や地域経済の活性化に寄与します。

6 パラスポーツの推進 【総合政策部】

- (1) 体験会や教室を障がいの有無に関わらず交流することができる事業として展開し、パラスポーツを普及・振興します。

主な事業

【総合政策部】

- ・健康ウォーキング事業
- ・(公財)苫小牧市スポーツ協会補助金
- ・氷上スポーツ育成事業
- ・ナショナルトレーニングセンター運営事業
- ・スポーツマスター事業
- ・スポーツ施設整備事業
- ・国際アイスホッケー中学生交流事業
- ・スポーツ合宿等助成金
- ・パラスポーツ振興事業
- ・全国高等学校選抜アイスホッケー大会

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
「スポーツやレクリエーションを身近で楽しめること」への市民満足度* (%)	69.0	74.0
生涯スポーツ事業参加者数 (千人)	193 (R1)	270
競技スポーツ事業参加者数 (千人)	37 (R1)	40
スポーツ合宿受入件数 (件)	145 (R1)	180

基本施策 23 文化芸術の振興

現況と課題

文化芸術は、市民一人ひとりが個性を発揮し、創造性や表現力を育む源となるものです。

少子高齢化やグローバル化の進展、情報技術の急速な進展など社会状況が大きく変化する中で、多様化する市民ニーズに対応し、心豊かに暮らしていくためには、今後も市民が文化芸術に接する機会を拡大することや活動を支援、環境を整備していく必要があります。また、多様な文化を将来に継承することで、文化の薫りあふれるまちづくりを進めることが求められています。

苫小牧市民文化ホールについては、市民サービスの向上と財政負担の軽減を図るためPFI[※]を適切な整備手法として、多くの市民に親しまれる施設を整備することにより、まちのにぎわいの創出及び文化・芸術の発展に寄与することが必要です。

基本目標

広く市民が文化芸術に親しめる機会を拡充するため、鑑賞機会を充実するほか、芸術家や文化団体等の活躍や交流機会の促進・支援に努めます。また、市内にある指定文化財等の保存、広報の充実を図り、文化芸術の振興に努めます。

苫小牧市民文化ホールについては、親近感と愛着の持てる憩いのプラザ(公共の広場)として、市民にとってのサードプレイス(「自宅」や「職場・学校」とは別の新しい第三の居場所)となることを目指します。

関連する個別計画

- ・ 苫小牧市民文化芸術振興推進計画
- ・ (仮称)苫小牧市民ホール建設基本構想・基本計画

主な取組

1 文化芸術活動の促進 【教育委員会】

- (1) 苫小牧市民文化ホールなどの施設を活用し、優れた文化芸術の鑑賞機会拡大に取り組みます。また、市民が主体的な文化芸術活動の活性化に向けた支援体制の整備などに努め、全ての市民が等しく文化芸術に触れる機会を確保し、文化芸術の創造、発展に努めます。

2 人材の育成 【教育委員会】

- (1) 担い手の育成に向け、若手芸術家が活動できる場の拡充や指導者などの人材育成に努めます。
- (2) 芸術家や文化団体、サークル間の交流活性に向け、機会の促進や支援に努めます。

3 文化芸術に触れる環境の整備と充実 【教育委員会、市民生活部】

- (1) 地域の文化芸術活動の拠点として、文化施設の機能を充実し、発信基地としての役割を果たすよう努めます。
- (2) 苫小牧市民文化ホールについては、PFI手法により施設整備・運営を行います。

4 地域の歴史的文化遺産の保存と活用 【教育委員会】

- (1) 歴史を理解する上で貴重な財産である指定文化財等の保存、広報など充実に努めます。

主な事業

【市民生活部】

- ・ 苫小牧市民文化ホール整備運営事業

【教育委員会】

- ・ 苫小牧音楽祭事業
- ・ 文化芸術振興計画事業
- ・ 美術博物館特別展、企画展示事業
- ・ 美術博物館祭事業
- ・ 文化財保護保存事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
「音楽や演劇、美術、伝統芸能などの芸術鑑賞の機会があること」への市民満足度* (%)	54.2	60.0
市主催鑑賞型事業入場率 (%)	70.0	75.0
市主催文化芸術鑑賞事業の実施数 (回)	5	6
市民文化祭参加人数 (人)	1,200	6,000
美術博物館利用者数 (人)	18,362	30,000



基本施策 24 国際・国内交流の推進

現況と課題

外国人住民の増加や多国籍化、新たな在留資格の創設、多様性・包摂性のある社会実現の動き、デジタル化の進展など社会経済情勢の変化への対応が求められています。

本市でも外国人住民数が5年間で約2倍に増加しており、国籍の多様化や人材不足の観点から働く外国人の増加といった傾向がみられます。

このような状況の中、本市では従来の姉妹・友好都市などとの国際交流を継続するとともに、地域の生活者として日常的に外国人と共生する社会を目指す必要があります。また、少子高齢化による人材不足やグローバル社会への対応といった課題の解決に向け「外国人も住みやすいまちづくり」を目指し、多文化共生社会の実現に向けて地域・企業と連携をした施策の推進体制を整備する必要があります。

勇払原野の開拓に入った八王子千人同心が縁で、八王子市とは昭和48年8月10日に、日光市とは昭和57年4月16日に姉妹都市盟約を締結し、全国でも珍しい三姉妹都市による交流を行っています(日光市とは平成18年10月1日に再盟約を締結)。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響により市民同士による交流が難しい状況となっていますが、姉妹都市を身近に感じてもらうため、歴史の浅い本市にはない両市の深い歴史や長く続く文化など各分野の情報を積極的に発信していく必要があります。

また、平成30年に八戸市と苫小牧市・八戸市交流連携協定を締結し、はちとまネットワークとして両市の交流を開始しました。今後は市民同士の交流の活性化のために、各分野において積極的に情報を発信していく必要があります。

基本目標

経済・教育・文化など幅広い分野において、市民が気軽に参画できる機会の提供と人材育成を目的とした子ども向け事業を展開し、国内外における交流を深めます。また、誰もが国籍や文化的背景に関わらず、地域の未来を創る一員として、共生できるまちづくりの方向性を定めるため、本市の特徴をいかした多文化共生の推進に係る指針・計画の策定を行います。

主な取組

1 国際交流の推進 【総合政策部】

- (1) 姉妹・友好都市との交流を継続し、教育・文化・産業など各分野による地域に根ざした国際交流を推進します。
- (2) 国際的な視野を持った人材育成を目的として国際交流関係団体等と連携し、子ども向けの交流事業を推進するとともに、地域で活躍するボランティアの養成や活躍の機会の提供を行います。
- (3) 国際交流サロンの運営や交流事業の実施により、国籍を問わず多種多様な文化・習慣を持つ市民同士が日常的に交流できる機会を提供します。

2 多文化共生と異文化理解の推進 【総合政策部】

- (1) 多文化共生施策の推進に係る指針・計画を策定し、地域・企業と連携した推進体制を整備します。
- (2) 行政・生活情報誌の多言語版を外国人相談窓口を整備するとともに、国際化推進事業におけるやさしい日本語の普及、日本語教育の推進、国際交流サロンなどを通じ、日本人・外国人双方のコミュニケーション支援に取り組みます。
- (3) 企業や留学生のニーズに応じ、関係機関と連携し、外国人の定着につながるよう、行政・生活情報誌を用いた生活オリエンテーションや、ライフステージに応じた生活相談を行います。
- (4) 講演会や各種事業を通じて、誰もが国籍や文化に関わらず、地域の未来を創る一員として多文化共生の地域づくりに参画する意識啓発と機運の醸成に努めます。

3 国内交流の推進 【総合政策部】

- (1) 姉妹都市との教育・文化・産業・自然保護等の交流を深めます。
- (2) 姉妹都市の歴史や文化などの情報を発信し、八王子市、日光市の魅力を広く市民に伝えることで、市民レベルでの交流活性化につなげます。
- (3) 連携協定を結んでいる八戸市とスポーツ、観光、物流、貿易、文化などの分野を軸に、相互の市民が参加できる交流を深め、交流・関係人口*の創出を図ります。

主な事業

【総合政策部】

- ・国際友好都市交流事業
- ・国際化推進事業
- ・こども国際交流事業
- ・姉妹都市親善
- ・はちとまネットワーク事業

評価指標

目 標 指 標 (項目)	基 準 年 度	R9年度目標
国際交流ボランティア登録者数 (人)	195	285
国際交流サロン利用者数 (人)	570	800
はちとまネットワークに係る連携事業延実施数 (事業)	6	40



